

学会だより

秋季年会の開催と講演の申込について

今秋の年会は、宗像ユリックス（〒811-34 福岡県宗像市久原 400）において 10月17日（火）から 10月19日（木）の3日間開催の予定です。講演発表は2会場並行で行われます。秋季年会のプログラムは9月20日発行の天文月報 10月号に掲載されます。

講演申込みは「〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係」あてに封筒の表に「講演申込書在中」と朱筆の上 8月21日（月）までに必着するよう規定の申込用紙を用いてお送り下さい。

ポスターセッションを設けます。講演申込みの際、「口頭発表」あるいは「ポスター発表」希望を指定して下さい。ただし申込み数によっては、異なる発表形式へ変わっていただく場合がありますのであらかじめご了承ください。このポスターセッションについてはディスカッションの時間を設ける予定です。

又、post dead-line papers も受け付けます。勿論これは、単に講演の締切日に間に合わなかったものではなく、IAU Circular に掲載されるような緊急性・トピックス性に富んだものに限定し、年会直前まで受け付けたいと思います。

尚、講演申込み用紙の分野の分類（用紙の裏面にあり）に続けて、プログラム編成のため、内容を最もよく表すキーワードをご記入下さい（例：恒星（内部振動）のよう）。

申込み用紙は、支部理事にまとめて送ってありますので希望者は返信料 62 円切手を同封し、封筒の表に「申込用紙請求」と朱書の上、下記の理事へお申出下さい。

- 北海道：馬場直志 〒060 札幌市北十条西八丁目
北海道大学工学部応用物理
- 東北：藤下光身 〒023 水沢市星が丘町 2-12
（水沢）国立天文台水沢観測センター
- 東北：籙木 修 〒980 仙台市青葉区荒巻字青葉
（仙台）東北大学理学部天文学教室
- 東京：吉澤正則 〒181 三鷹市大沢 2-21-1
国立天文台
- 中部：福井康雄 〒464-01 名古屋市千種区不老町
名古屋大学理学部物理学教室
- 関西：稲垣省五 〒606 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部宇宙物理学教室
- 中国・四国：佐々木 節 〒725 広島県竹原市竹原町
1294 広島大学理論物理学研究所
- 九州：平井正則 〒811-41 福岡県宗像市赤間 729
福岡教育大学地学教室

◇講演申込者で、年会出席旅費の補助を希望される方は、支部理事を通じて、8月21日（月）までに必着するよう「国立天文台内 日本天文学会 理事長」あてに申し込んで下さい。但し申込みのできる人は、7月末日までに 1989 年度会費納入済みの人で、原則として、連名の場合でもスピーカーであり、正式の給与を受けていない人（大学院生など）に限ります。

◇講演申込み・発表に際しては、特に次の事項を厳守して下さい。

1. 講演内容は完成度の高い研究とする。
2. 連名の場合スピーカーを発表者の筆頭に書くこと。
3. 講演筆頭者はポスター発表を含め 1人1回に限る。
4. ビラは使用禁止、スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターを使用すること。

◇旅館については各自で直接申し込んで下さい。

◇年会中に集会等のため、会議室の利用を希望される方は、前もって、九州支部理事（平井正則）までご連絡下さい。可能な限り手配したいと思います。

日本天文学会公開講演会

年会開催を記念して一般市民を対象とした講演会を、10月17日（年会初日）午後の講演終了後に開催する予定です。

内地留学奨学金の希望者を募集します。

応募される会員は、下記要項をご参照の上お申し込み下さい。

記

留学期間：1989年11月から約1年間の中の希望期間。

申し込み：所定用紙に必要事項を記入し、「〒181 三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会理事長」宛に申し込んで下さい。（用紙は日本天文学会事務室に用意してあります）

申し込み締切：1989年9月20日

審査：当学会選考委員会（内規第5条）で審査の上決定し、10月下旬本人に通知します。

支給額：24万円以下で、支給予定は決定後なるべく早い時期（11月～12月）とします。

人数：原則として1人。

新人を歓迎します。

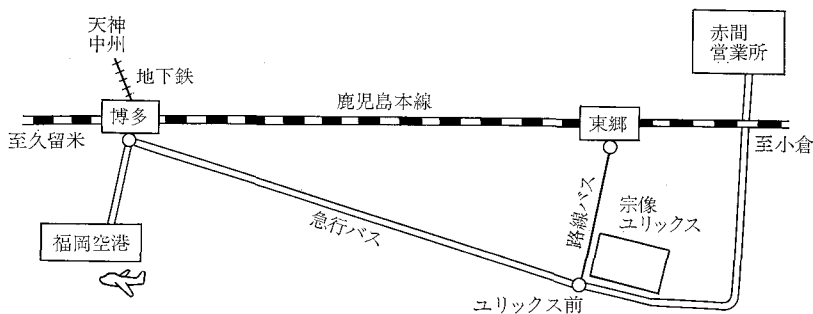


秋季年会会場への交通機関および宿泊について

1. 会場（宗像ユリックス）近くにはホテル、旅館はありませんので、以下の交通機関、所要時間を考慮して宿泊の予約をお願いいたします（博多駅周辺での宿泊が便利です）。

2. 交通機関は二通りあります。

- 赤間営業所行き急行（注：宗像ユリックス前停車は毎時1本）
福岡空港→博多駅→宗像ユリックス前（所要時間 60 分）
- { 博多駅→東郷駅（JR，鹿児島本線，上り快速電車で 25 分）
東郷駅→宗像ユリックス前（西鉄バスで 10 分）



宿 泊 所 案 内

施 設 名	所 在 地 ・ 電 話	宿 泊 料 金	条 件
* K K R は か た	福岡市中央区薬院 4-21-1 092-521-1361	2000～	博多駅よりバス 15 分
* リーセント・ホテル	福岡市東区箱崎 2-52-1 092-641-7741	4532～	博多駅より地下鉄で 12 分 (箱崎九大前)
サンライフホテル No. 1	福岡市博多区博多駅中央街 4-16 092-473-7111	5800～	博多駅より徒歩 2 分
博多グリーンホテル	福岡市博多区博多駅中央街 3-11 092-451-4111	5400～	同 上
博多シティーホテル	福岡市博多区博多駅前 3-4-8 092-474-5111	6100～	博多駅より徒歩 3 分
博多パークホテル	福岡市博多区博多駅前 4-11-18 092-451-1151	6100～	博多駅より徒歩 4 分
ホテルセントラザ博多	福岡市博多区博多駅中央街 4-23 092-461-0111	8700～	博多駅前
ホテルクリオコート博多	福岡市博多区博多駅中央街 5-3 092-472-1111	9200～	博多駅前

注) *は公務員共済関係です。*印以外の宿泊の予約の際は日本天文学会会員であることを伝えてください。

天文学会マークの図案について

本号総会記事で報告されているように、今年5月の春季年会で第1回「日本天文学会研究奨励賞」が贈呈されました。この賞品のメダルを作るために、本誌の昨年8月号で天文学会シンボルマークのデザインを募集しましたところ、杵野充千男、福江純、松尾まり、八木淳一郎の4氏から応募がありました。ありがとうございました。

応募された、図案をもとに理事会、評議員会、秋季年会時など、折にふれて多くの方々のご意見を聞き、また専門家のジャパン・アドバンス・プラン(株)には図案の具体化を依頼して、検討作業を続けました。しかし、満足できるようなものは得られませんでした。前記の授賞式にも残念ながら目録だけを差し上げることになってしまいました。

そこで反省をこめて今年こそは、もっと具体的なイメージを示して図案を再募集して、決定版を作りたいと思います。図を描くのが不得意な方は言葉で応募していただけませんか。

1. メダルの表面にシンボルマーク、それに「日本天文学会」、「研究奨励賞」などの文字を和文あるいは、英文などで刻みます。裏面には受賞者名、日付などが入り

ます。

2. シンボルマークは、研究奨励賞受賞者の年齢を考慮して、「若々しさを感じるもの」、「未来への発展性を感じるもの」が望ましいところです。

3. メダルの図案ですから、あまりに精細なものは不適当です。母型を作りやすいことも望ましいことです。

4. メダルの体裁まで含めたデザインも歓迎します。もちろん基本のシンボルだけの図案、あるいは「望遠鏡を図案化して……」、「ビッグバンを……」などのように言葉だけでも結構です。

5. 締切 9月20日

宛先 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会 図案係
そのほかは昨年の募集に準じます。

昨年度の応募作品の例です。



天体観測専門誌

天文ガイド

9月号 定価460円(税込み) ¥91 8月5日発売

特集 ボイジャー2号海王星へ

木星・土星・天王星を観測し、今年8月に海王星に到達。何が発見されるかを大胆に推測・展開!

国立天文台 岡山観測所

わが国最大の口径188cm大反射望遠鏡は観測データをとる最先端。その観測装置をくわしく紹介。

ニューフェイステストレポート

ケンコー スカイメモNS…写真専用の自動赤道儀、35mm～大判カメラまでの自動追尾をテスト。

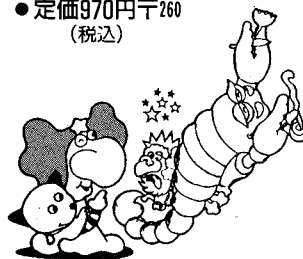
- 9月のスターウォッチング ● 9月の観測資料
- 観測ガイド ● 情報ボックス…など情報満載

チロの天文シリーズ

藤井旭の星雲・星団ガイド

星雲・星団の見つけ方、見え方について、その位置する星座ごとに、詳しい星図を四季に分けて紹介し、あわせて星雲・星団の写真撮影のテクニックと、よく詳しく観測するための機材の選び方や使い方についても、やさしく解説。小・中学生を対象にした天文入門書「チロの天文シリーズ」の第6冊目。

- 藤井 旭 著
- 四六判 / 102頁
- 定価970円 ¥260 (税込)



誠文堂新光社

東京都千代田区神田錦町1-5
電03(292)1221 振替東京7-128